

地域看護師育成 人材交流の紹介

2023/8/9

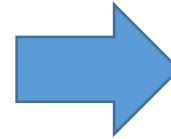
汐田総合病院 本部
統括看護部長 奥山洋子

人材交流のかたち

I. 在籍出向

1) 「循環型」

所属施設に籍をおいたまま
他事業所での勤務を経験



所属施設へ
帰任

- ①中堅看護師として経験を積む中で仕事への向き合い方、育児・介護などの環境変化に対応
- ②地域包括ケア時代の看護を学ぶ
(6ヶ月～12ヶ月)
- ③連携の促進に寄与する



I. 在籍出向

2) 「養成型(つばめナースB)」

汐田総合病院スタート

地域包括ケア時代の看護師キャリア支援

講義・演習・コンサルタント面談・ケーススタディ・意思決定援助

1~2年目
汐田総合病院

3年目
済生会横浜市
東部病院

4年目
汐田総合病院
診療所・老健
訪問看護

5年目
汐田総合病院
他施設選択



Ⅱ. 移籍

「養成型つばめナースA)」 東部病院スタート

地域包括ケア時代の看護師キャリア支援

講義・演習・コンサルタント面談・ケーススタディ・意思決定援助

1年目
東部病院

2～4年目
汐田総合病院

5
年
目
選
択

東部
病院

汐田
総合
病院



つばめナース育成の目標

- ①地域包括ケア時代での急性期から回復期・在宅と患者の療養する場所が様々な場所となっていることから、どのような場所においても看護が提供できる看護師の育成を行う。
- ②患者が住み慣れた地域で長く暮らしていくための支援ができるゼネラリストナース育成を目指す。
- ③地域連携を学び、継続看護の実践力を獲得する。
- ④介護事業所との連携について学び、在宅支援に結び付けることができる。



1、選定方法

学生からの東部病院への応募により、採用主体は東部病院にあり採用試験実施。面接は汐田総合病院側の管理者とともに実施。

2、労働条件

2年目の4月1日に、東部病院⇒汐田総合病院への移籍となるため、就業・福利厚生等については移籍先(汐田)に準ずる。有給休暇残などは引継ぎ、勤続年数についても引継ぎとする。

3、その他



ご質問にお答えします